

令和7年度 富士見市民大学 環境講座 VOL. 1 自然環境編
ブラタモリならぬ「ブラふじみ」しながら富士見の自然を学びます

5回講座の3回目、野外講座「柳瀬川・水谷田んぼ野鳥観察会」を終えました。

日時 11月8日(土) 9:00～12:00

行程 柳瀬川駅東口～富士見橋～高橋～水谷東公民館（トイレ休憩）～水谷田んぼ

参加者 21人

講師 埼玉県環境アドバイザー 千種氏

埼玉県生態系保護協会志木支部 毛利氏 鈴木氏

朝9時は、曇り気味で少し風が吹いて肌寒く感じましたが、徐々に風が収まり日も差してきて、野鳥観察会には、すばらしい秋日和となりました。

《集合》

挨拶、パンフレット・オリジナル図鑑配布、双眼鏡の貸し出し、行程説明をおこないました。柳瀬川駅から柳瀬川河原へ移動して、双眼鏡の使い方を説明しました。

《柳瀬川野鳥観察》

富士見橋から高橋まで約2km、ゆっくり歩きながら観察しました。鮎釣りの人が多かったので、残念ながら野鳥が少なめでした。

《水谷調節池の説明》

現在建設中で令和8年夏に完成予定です。洪水対策に寄与、都市部での生物多様性を支える調節池になります。池の周囲には散策路が整備されます。富士山の眺望を楽しめます。

《水谷田んぼ》

川・草地・田んぼ・水路・耕作放地などの様々な生態系に育まれて、多くの生きものが生息しています。大型開発の話もありましたが今は頓挫しています。

《見られた鳥の確認をして終了》

当日は21種の鳥を見ることが出来てまずまずでした。猛禽類のチョウゲンボウを間近で見れた時は皆さま大興奮、歓声が上がりました。

《受講者の声》

- ・電車から見ているだけの柳瀬川と水谷田んぼですが、こんなに自然が残されているのですね。
- ・チョウゲンボウのホバリングは迫力あるシーンでした。また観察会に参加したいですね。



オリジナル図鑑配布



観察開始



カルガモの行列



田んぼ水路でメダカを確認



ホバリングするチョウゲンボウ



講師3人による解説